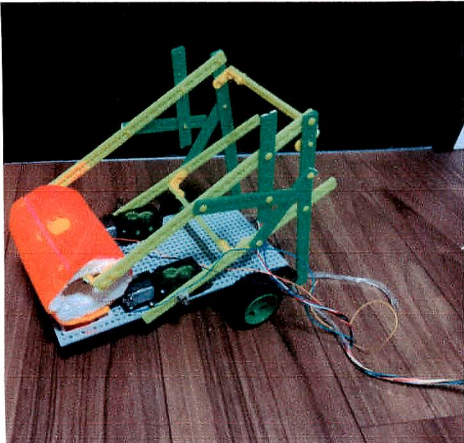


この作品はクリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンスの下に提供されています。

ROBOCON REPORT 2021 by Young Maker

学校名	埼玉大学教育学部附属中学校		
(ふりがな) チーム名	(ろぶすたー) Rob.STAR		
ロボコンルール (名称とURL)	名称：新型コロナ撲滅オペレーション https://sites.google.com/view/digitalclassroom-technology/%E5%AD%A6%E7%BF%92%E8%B3%87%E6%96%99%E9%9B%86/%E3%82%A8%E3%83%8D%E3%83%AB%E3%82%AE%E3%83%BC%E5%A4%89%E6%8F%9B%E3%81%AE%E6%8A%80%E8%A1%93	都道府県名	埼玉県
製作期間	2020年9月頃から2020年1月頃まで	製作時間	16時間
ロボットに関する写真と図	<p>必ず、ロボットの概要や機構等の特徴がわかる写真や図等を1~4枚で掲載する。</p> <p>写真や図に記号等を書き込み、下の枠「ロボットのアイデア概要」で解説する。</p>  		
ロボットのアイデア概要【報告書要約】	<p>〈用途〉店内の机の消毒液による拭き上げ</p> <p>〈本体〉ロボットの台座、モーター4個（タイヤ用×2、拭き上げ用×2）、プラスチック棒、ローラー用のキッチンペーパー、指定の布巾×2</p>		

<p>どのような動きを実現するために、具体的にどのような素材や機構を用いて実現したのか、枠いっぱい解説を書き込むこと。</p>	<p>〈構造・仕組み〉基本的にはロボットを二個のタイヤで動かす。拭き上げ用モーターはモーター本体とイモネジで固定して動く仕様。モーターを使い回転させ、ロボット本体を動かすことで効率よく拭き上げる。高さに差があるテーブルはローラーなので上からテーブルに着地する際に調整されるので対応できる。拭き上げシステムはキッチンペーパーを利用し、転がすことにより消毒液をしみこませた布巾で拭く。また拭き上げ用モーターに適當の長さに調整した棒をつなげ、床にぶつかるはずみを利用して布巾を床に落とさずに移動できるので衛生的である。発案者はこのシステムを「グラスホッパーシステム」と名付けている。</p> <p>経済的には布巾を変えることで何度でも本体を使い回しができるが、消毒液をしみこませたという点では出費がどうしても大きくなってしまふ。ただ、スプレーを押ししたり中身をこぼしたりするという点が無いので時間はその分短くなり、客の邪魔にもなりにくい。スタート時の大きさも規定の範囲内である。</p> <p>〈操作方法〉①スタート時はローラーが上になっている状態で始める。この時点でスタート地点に最も近いテーブルにローラーを向けておく。②タイヤを動かし、同時にローラーのモーターを動かす。③タイヤとローラーを駆使して机を拭く。④一つのテーブルを拭き終わったら「グラスホッパーシステム」の魔法の三角形（トラス構造）をテーブルに突き立てるようにモーターを回す。⑤そのまま後進してローラーのモーターを回し続けておく。⑥そのままタイヤで移動して次のテーブルにローラーをのせる。★③～⑥を二回繰り返す。</p>
<p>参考資料</p> <p>製作上参考にした資料や、参考にした先輩のロボット等の情報についてできるだけ詳しく解説する。</p>	<p>特になし</p>

報告書の2枚目以降にさらに詳しく自由フォーマットで記入する。この用紙を入れて11枚以内で報告書を作成すること。